公表

事業所における自己評価結果

事業所名		小平市立たいよう福祉センター		公表日		令和7年 3月28日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	6	<ul style="list-style-type: none"> ・これ以上スペースは増やさない方が良いと思われる。 ・個別対応のスペース部屋。廊下等で対応。空調的には難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的室の利用。できれば、平日の通園中はずっと使用できるように改善したい。 ・休養やクールダウンする部屋・場所がない。また保健室もスペースが狭い。 ・スペースが足りない。多目的室が有効に使えるようにすべき。 ・園庭が狭い。全クラスで出られる（遊べる）位の広さがあるとよい。 		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	17	3	<ul style="list-style-type: none"> ・職員に欠員が出なければ、配置数は足りている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスによっては、状況など足りないと思われる時がある。 ・イレギュラーがあった時の人員が不足していると思います。 		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	11	<ul style="list-style-type: none"> ・パーテーションを利用して空間を仕切り安心して過ごせるようにしている。 ・配慮が必要な子には手づくりの空間で対処、工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・肢体不自由のこどもの部屋には、床暖がほしい。 ・床が冷たい。血液循環の悪いお子さんたちがいる。 ・構造化、支援ツール（コミュニケーションカード等）、視覚支援について職員間の向上が必要。 ・物を置く場が足りない。観察室が機能していない。普段は保護者がドアから見ている。看護師とのPHSがあると助かる。 ・フリースペースの部屋でいつも使用できる部屋が必要。 ・今後連絡帳等の改善に向けてWi-Fi等の環境を整えていく必要がある。 		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	10	<ul style="list-style-type: none"> ・所々、破損しているところがあり、危険なところもあるが、応急処置で対応している。 ・壁、棚など老朽化が見られ、応急的に対応している状態。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今あるスペースで工夫して使っていると思うが、遊具収納部屋や集えるホールがあるといいと思う。 ・清掃などは毎日行っているが、建物自体が古く、すきま風やホコリが入る。 ・高い所にはホコリがたまりがち。普段のそうじでは手が回らない。 ・壁の素材のめくれ、はがれ。ロッカー-etcのささくれ。 ・古いこともあり、木の部分が欠けていたりする。 ・スイングホース、ハグスイングを固定する天井のかな具を点検して欲しい。 		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	8	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的室が1つしかないため、使用したい児が多いと足りないが、保健室も利用し、対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特性に合わせた個別の部屋が少ないため、必要な時に使用できない。 ・必ず使える部屋があるわけでもない。 ・カームエリアの不足を感じます。 ・特定の児童だけ使用しているため、臨機応変には使用できないように感じる。 ・充分であるとはいえないと思います。 ・STや音楽活動があると使用できない。 ・部屋が足りない。 ・個別対応したい時はあるが、スペースが限られているため難しい。 ・フリーな部屋がない。いざという時に音楽などで使われていて、使用できず困る。 ・スペースが足りない。多目的室が有効に使えるようにすべき。 		

業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	17	2	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はシステムを導入したため、業務の軽減、使いやすさ、充実さを共有して行っている。 ・療育終了後、クラスでのふりかえりを行っている。 ・努力して体制・仕組みを改善している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フリースペースの部屋でいつも使用できる部屋が必要。 ・目標が示されておらず、支援に困ることがある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	1	<ul style="list-style-type: none"> ・意見について周知して、改善できることは早めに行うようにしている。ただし、時間の延長など難しい案件もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後連絡帳等の改善に向けてWi-Fi等の環境を整えていく必要がある。 ・わかりません。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	2	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議等で適宜検討している。 ・改善には至らないケースもあるが意見をよく聞いてくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見はきいてくれるが、改善にどこまで取り組んでいるかがわかりづらい。 ・面談はあるが、自分の意見も含め、業務改善につながっているのか。報告がないのでわからない。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	17	1	<ul style="list-style-type: none"> ・評価結果を参考に、給食だより、園だよりの活用(内容)方法を変えた。 ・わかりません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・改善されていることが見えにくい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	19	1	<ul style="list-style-type: none"> ・部署内、職場内(たいよう、社協)研修の場が増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修が少ない。 ・療育に関する研修(スキルアップ、基礎的なこと)が、もっとあってもよい。 ・他事業所の見学等さらに必要と思われる。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	17	1	<ul style="list-style-type: none"> ・面談や懇談会などで伝えている。 ・実施されていると思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わからない。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	17		<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の面談にて聞きとりを行っている。 ・実施されていると思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース会議の1ケースあたりの時間が短く十分に質問等の時間がない。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	16	2	<ul style="list-style-type: none"> ・児発管と担当クラス職員がモニタリングをして、作成している。 ・実施されていると思われる。 	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	19	1	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回のケース会議にて全職員(専門職含め)で周知し、療育に生かしている。 ・実施されていると思われる。 	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	5	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の振りかえり、次への課題、環境整備は話し合っている。 ・実施されていると思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりません。 ・このような視点での確認は十分なされていないとは思わない。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	18		<ul style="list-style-type: none"> ・5領域の含まれた計画書を作成している。 ・実施されていると思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・形式上はなっているが実際はわかりづらい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	17	2	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任が話し合っている。 ・実施されていると思われる。 	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	6	<ul style="list-style-type: none"> ・一週間、一ヶ月とバランスをみて偏りのないように工夫している。 	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	16	2		<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりにとって、どの環境が望ましいか検討はしているが、体制や場所の確保がむずかしい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	18	2		<ul style="list-style-type: none"> ・個別対応が一人の職員に偏らないように分擔している。 ・活動前の事前確認が入ることは支援する上で助かる。 ・バスの関係で打ち合わせできない場合もあるが、ホワイトボード等で確認できるようにしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	20		<ul style="list-style-type: none"> ・パートタイム職員とは朝や帰りの振り返りにて共有。担任同士は勤務時間内に行っている。 	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	18	1	<ul style="list-style-type: none"> ・システムのケア記録に入力している。 	

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	1	・一人ひとりの成長については日々確認している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14	2	・計画相談（事業所）とのモニタリングを行ったり、セルフの計画書をみせてもらっている。 ・実施されていると思われる。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15	1	・訓練の計画書や主治医からの情報を提供してもらっている。 ・実施されていると思われる。	・わからない。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15	1	・面談などで相談をうけたり、提案したりし、担当STや園とで検討もする。移行先には状況説明書などで引きついでいる。 ・実施されていると思われる。	・わからない。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	17		・こげらシートの活用、小金井特支とは年度初めの引きつぎ、小平特支はコーディネーターの来所、書類などの引きつぎをしている。 ・実施されていると思われる。	・わからない。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	9	2	・定期的な連絡会を実施。お互いの近況や課題などを共有している。	・わからない。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	9	4	・部署内では療育に関することの研修を行っている。	・助言は得られているが外部研修は充分とはいえないと思われます。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	9	1	・全員行くことはむずかしいが、代表が出席している。	・普段から聞かれている場所であるといい。 ・分からない。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	16	1	・小川西保育園との交流をしている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	18		・連絡ノート、電話、面談などで共有している。	
保護者への	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	16	1	・児発センターの相談担当より、チラシの案内等を受け配付している。	・わからない。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	17		・年度初め、契約時などの説明会でやっている。	・わからない。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	17		・年2回の面談や気になる時には、電話などで確認している。	・わからない。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	16		・面談時に実施している。	・わからない。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	18		・ノートや電話、面談時に行っているが、難しいことには持ち帰って園全体で考えている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	16	1	・あえて、きょうだい同士が交流できる場は設けていないが、設ける必要があると感じることもある。 ・運動会では、きょうだいも参加した。	・きょうだい同士の交流はしていない。 ・わからない。

説明等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	17	1	・早めに返す努力をしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	18		・園だより、年間行事予定、各行事のおしらせを配付している。 ・SNSはできていないが、おたよりなどで情報を発信できていると思う。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	19		・持ち帰らない。机の上に出して帰らない。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	19		・保護者の気持ちに寄り添い、聞き役に努めている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	16	1	・センターまつりを行っている。	・たいようセンターまつりは行っているが、他は特にしていないように思う。 ・わからない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	17	2	・実施しているものもある。	・訓練は少ないと感じる。 ・防犯マニュアルはない。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	18	1	・年2回の避難訓練と避難所設置訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	19		・入園時（前）に行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	19		・関係者会議を実施している。医師からの書類をもとに対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	17	2		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	17	1	・バス乗車時の安全を守るため（家族と相談の上）ベルトの追加などを行っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	18	1	・ヒヤリハット、事故報告書の作成をし対策をしている。	・周知はしているが、再発防止策をどこまで職員間で共有できているかがわからない。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	18			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	17			